



市議会だより



No.78 2025.7

大東高校レスリング部 インターハイに初出場!



6月定例会

令和7年度 全国高等学校総合体育大会（インターハイ）

レスリング競技大会

日にち：7月27日～30日

会場：雲南市三刀屋文化体育館 アスパル

補正予算可決

補正後総額

316億9,918万円

令和7年6月定例会を6月12日から26日までの15日間の会期で行いました。

条例その他9件、予算6件、承認7件、報告10件が上程され、慎重に審議した結果、原案通り可決しました。また、議員発議2件を原案通り可決しました。

●脱炭素社会構築推進事業

(温浴施設等の省エネ・再エネ化可能性調査等)

2,195万円
(補正後 2,478万円)



温浴施設「桂荘」



大東公園 野球場スコアボード

●公園施設整備事業

(加茂中央公園・大東公園

野球場スコアボード等)

7,800万円
(補正後 1億5,000万円)

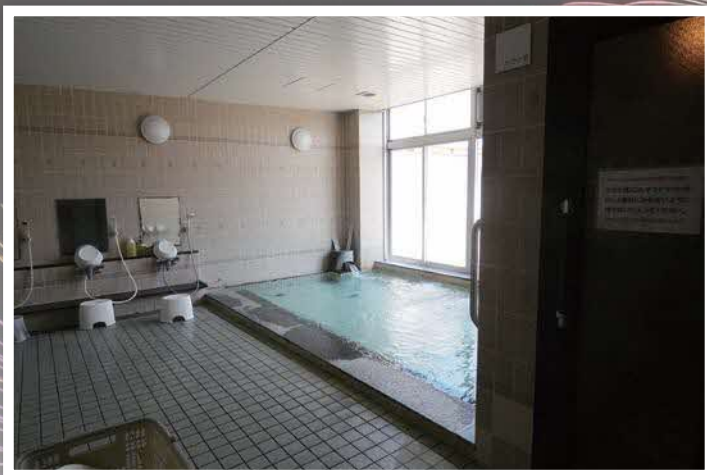
福岡 守	石原 忍	廣野 祐二	渡辺 重光	高橋美佐子	多賀 法華	安田 栄太	梶谷 佳平	上代 和美	中林 孝	中村 辰眞	矢壁 正弘	佐藤 隆司	原 祐二
○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○

令和7年度6月

一般会計補正予算

補正額

5億7,918万円



加茂健康福祉センター「かもてらす」

- 社会福祉施設整備事業
(加茂健康福祉センターの熱源施設改修)
1億5,917万円 (新規)

- 道の駅さくらの里きすき
活性化整備事業
(公園・駐車場整備、
たんびにきて家改修工事等)
1億7,654万円 (新規)



防災のための駐車場・公園予定地

採決結果

(議案で賛否の分かれたもの)

6月定例会分 議長は採決に加わりません 「○」・・賛成 「●」・・反対

議 案 名	採決結果	竹部 貴博	原 良太	吾郷 希穂
雲南市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定の専決処分の承認	承認	○	○	○

令和7年度主な補正予算(一般会計)

(単位：千円)

事業名等	内 容	補正額	補正後総額	備考
ふるさとミライカレッジ推進事業	県内外広く、全国の大学等と連携し、学生のフィールドワーク等を受け入れて地域課題解決プロジェクトを実施。	10,000	10,000	新規
地域活性化センター助成事業補助金	移住者・二地域居住者へ空き家提供を促進するためのプラットフォーム形成および寄付の仕組み構築に伴う経費。	1,994	1,994	新規
原子力災害対策事業	災害用自動ラップ式トイレ等の整備費用及び会計年度任用職員の報酬等。	13,694	37,995	拡充
脱炭素社会構築推進事業	主に市内7つの温浴施設等の熱源転換導入調査、人材育成、地域エネルギー事業会社出資金。	21,946	24,775	拡充
相談支援事業	障がい者等に対する相談支援専門員増員配置のための委託事業費の増。	2,359	36,552	
保育所施設修繕事業	かもめ保育園 冷凍冷蔵庫・冷凍庫・食器洗浄機故障に伴う更新。	2,486	28,054	
地域農業の維持・発展に向けた担い手の確保育成支援事業補助金	農地集積や受託作業により、地域の農業を維持する認定農業者や集落営農法人の設立等に対する補助。	14,938	14,938	新規
地域おこし協力隊（観光振興）配置事業	委託型地域おこし協力隊の配置、隊活動支援補助金。	2,695	2,695	新規
社会福祉施設整備事業	加茂健康福祉センター熱源施設改修。	159,170	159,170	新規
道の駅さくらの里きすき活性化整備事業	公園附帯建築物建築工事、舗装工事、公園緑化工事等。たんびにきて家施設改修工事等。	176,543	176,543	新規
地域商業等支援事業費補助金	地域の商業機能が失われつつある小売店等の開業等を支援。(新規相談3件)	6,000	16,197	拡充
団体営農道整備事業	大仁農道(刈畑地区)法面对策実施設計業務・防護柵設置工事。	30,000	30,000	新規
公園施設整備事業	公園施設長寿命化計画に基づく施設更新。(加茂中央公園・大東公園野球場スコアボード等)	78,000	150,000	拡充
菅谷たたら山内防災整備事業	消火設備実施設計業務委託費。	11,911	20,951	拡充
中学校施設整備事業	加茂中学校校舎屋根の雪止め落下に伴う改修工事。	11,000	17,100	
中学校緊急校務支援員配置事業	緊急対応非常勤講師を配置する学校に対して、緊急校務支援員を配置。	4,815	6,627	
大東学校給食管理事業	プレハブ冷凍冷蔵庫更新改修工事。(4台)	6,543	122,553	

令和7年6月定例会

議案 審議結果

承認	採決結果	採決状況
令和6年度雲南市一般会計補正予算（第8号）の専決処分 ・補正額 139,500千円 補正後の額 35,861,036千円	承認	全会一致
令和6年度雲南市一般会計補正予算（第9号）の専決処分 ・補正額 ▲761,000千円 補正後の額 35,100,036千円	承認	全会一致
令和6年度雲南市国民健康保険事業特別会計補正予算（第6号）の専決処分 ・補正額 ▲76,335千円 補正後の額 3,942,852千円	承認	全会一致
令和6年度雲南市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号）の専決処分 ・補正額 ▲19,102千円 補正後の額 1,259,849千円	承認	全会一致
令和6年度雲南市農業労働災害共済事業特別会計補正予算（第1号）の専決処分 ・補正額 ▲3,817千円 補正後の額 1,783千円	承認	全会一致
雲南市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定の専決処分 ・国民健康保険料の賦課限度額等改正のため、雲南市国民健康保険条例を改正するもの。	承認	賛成多数
雲南市税条例の一部を改正する条例制定の専決処分 ・地方税法及び地方税法等の一部を改正する法律が令和7年3月31日に公布されたことに伴い、雲南市税条例を改正するもの。	承認	全会一致

条 例	採決結果	採決状況
雲南市立海潮小学校の移転に伴う関係条例の整備に関する条例 ・海潮小学校を旧海潮中学校に移転することに伴い、条例を改正するもの。	可決	全会一致
雲南市道の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例 ・自転車通行帯について道路構造令の改正に伴い、条例を改正するもの。	可決	全会一致

一般事件	採決結果	採決状況
教育施設等解体撤去事業 掛合体育館解体工事請負契約の変更 ・契約金額及び工期を変更するもの。	可決	全会一致
財産の取得 ・市民バス29人乗り4WD（2台）の購入契約を締結するもの。 契約金額 28,035千円	可決	全会一致

一般事件	採決結果	採決状況
財産の取得 ・小型動力ポンプ付軽積載車（4台）の購入契約を締結するもの。 契約金額 33,660千円	可決	全会一致
財産の取得 ・消防ポンプ自動車（1台）の購入契約を締結するもの。 契約金額 31,900千円	可決	全会一致
財産の取得 ・除雪トラック7t級（1台）の購入契約を締結するもの。 契約金額 37,800千円	可決	全会一致
和解及び損害賠償の額を定めること（2件） ・市有施設からの落雪による車両損傷に伴い発生した損害に対し、地方自治法により、和解及び損害賠償の額を定めることについて、議会の議決を求めるもの。	可決	全会一致

予 算	採決結果	採決状況
令和7年度雲南市一般会計補正予算（第1号） ・補正額 578,000千円 補正後の額 31,698,000千円	可決	全会一致
令和7年度雲南市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号） ・補正額 1,600千円 補正後の額 4,108,600千円	可決	全会一致
令和7年度雲南市水道事業会計補正予算（第1号） 【収益的収支】 ・水道事業費用 補正額 2,691千円 補正後の額 1,240,579千円 【資本的収支】 ・資本的支出 補正額 4,858千円 補正後の額 1,072,456千円	可決	全会一致
令和7年度雲南市下水道事業会計補正予算（第1号） 【収益的収支】 ・下水道事業費用 補正額 ▲2,843千円 補正後の額 1,986,548千円 【資本的収支】 ・資本的支出 補正額 ▲1,033千円 補正後の額 1,594,218千円	可決	全会一致

予 算	採決結果	採決状況
令和7年度雲南市病院事業会計補正予算（第1号） 【収益的収支】 ・病院事業費用 補正額 508千円 補正後の額 5,972,408千円 【資本的収支】 ・資本的収入 補正額 ▲18千円 補正後の額 485,454千円	可決	全会一致
令和7年度雲南市一般会計補正予算（第2号） ・補正額 1,177千円 補正後の額 31,699,177千円	可決	全会一致

報 告
議会の委任による専決処分 ・市有施設からの落雪による車両損傷に伴い発生した損害に対し、法律上市の義務に属する損害賠償の額を定めること及びその和解に関して専決処分したので、議会に報告するもの。
幼稚園保育料に関する権利（債権）の放棄 ・雲南市私債権の管理に関する条例に基づき、幼稚園保育料に関する権利（債権）を放棄したので、議会に報告するもの。
空き家等緊急安全措置負担金に関する権利（債権）の放棄 ・雲南市私債権の管理に関する条例に基づき、空き家等緊急安全措置負担金に関する権利（債権）を放棄したので、議会に報告するもの。
水道料金に関する権利（債権）の放棄 ・雲南市私債権の管理に関する条例に基づき、水道料金に関する権利（債権）を放棄したので、議会に報告するもの。

報 告
病院医療費に関する権利（債権）の放棄 ・雲南市私債権の管理に関する条例に基づき、病院医療費に関する権利（債権）を放棄したので、議会に報告するもの。
令和6年度雲南市一般会計繰越明許費繰越計算書 ・地方自治法施行令により繰越計算書を調製し、議会に報告するもの。
令和6年度雲南市一般会計事故繰越し繰越計算書 ・地方自治法施行令により繰越計算書を調製し、議会に報告するもの。
令和6年度雲南市水道事業会計予算の繰越 ・事業の実施状況により予算繰越したものを地方公営企業法により、議会に報告するもの。
令和6年度雲南市下水道事業会計予算の繰越 ・事業の実施状況により予算繰越したものを地方公営企業法により、議会に報告するもの。
議会の委任による専決処分 ・議会の議決を経た「加茂文化ホール大規模改修事業ラメール改修（建築）工事請負契約」の金額変更について専決処分したので、議会に報告するもの。

議員 発 議	採決結果	採決状況
地方財政の充実・強化を求める意見書 ・国に対して地方への財政の充実・強化を求める意見書の提出。	可決	全会一致
雲南市議会ハラスメント根絶条例の制定 ・ハラスメント事案が発生したことにより、今後、議員による市民又は職員等に対するハラスメント及び議員に対するハラスメントの根絶に努め、市民に信頼される議会を実現するため条例を制定するもの。	可決	全会一致



議員表彰



永年の地方自治の発展に貢献した功績により、次の議員が表彰を受けました。

普通表彰

（議員8年以上）

中 林 孝

上 矢 原 松

代 壁 正 林

和 弘 祐 孝

美 弘 二 之

特別表彰

（議員16年以上）

佐 藤 隆 司

感謝状

（特別委員会委員）

矢 松

壁 林

正 孝

弘 之

一般表彰

（正副議長4年以上）

矢 壁 正 弘

上 代 和 美

全国市議会議長会

委員会報告

総務常任委員会

委員長 梶谷 佳平

（議案の審査）

本委員会に付託及び委託された4件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。

（条例等の審査状況）

・財産の取得について

雲南市民バス29人乗り2台の購入契約をするものです。

問 バスの更新基準と車両台数の妥当性は。

答 更新基準は、車両年数が12年を経過するもの、または走行距離が50万kmを超えるものを目安としている。車両台数の妥当性は、今年度から雲南市地域公共交通計画について、広域バス・地域バスの見直しやだんだんタクシーを含め利用者の増加に向けた検討を行う予定。来年度から新しい計

画がスタートするので、それまでのところで大枠を検討したい。

（主な予算の審査状況）
・令和7年度雲南市一般会計補正予算（第1号）

①災害用自動ラップ式トイレの整備費1,058万円は、交流センターや有事の際に開設する指定避難所31カ所に分散配備する予算です。

問 現在何台所有し、何処に配備しているのか。

答 現在12台所有しており、本庁と各総合センターに配備している。



災害用自動ラップ式トイレ

問 今後の使用方法は、次の段階の活用方法も踏まえ検討すべきではないか。

答 現在、木製やダンボール製の簡易トイレを約300台所有しており、そのトイレとあわせて状況に応じた対応をしたい。

②NPO法人等の支援に関する事業寄附金475万円は、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用して海外体験プログラムを企画し人材育成等に取り組む事業で、出雲市・雲南市・奥出雲町・飯南町を対象に実施するものです。

問 今年度はバン格拉デシユで研修することであるが、この定員数と雲南市在住者の参加数は。

答 定員は15名でその内雲南市在住者は、小学生1名、高校生1名の計2名である。

問 周知方法や研修時のサポート体制はどうか。

答 周知方法は、各市町の教育委員会を通じて各

学校に周知し、募集している。サポート体制は、事業主体の（一社）コミュニティナースラボラ

トリのスタッフ5名が随伴し、現地受入団体と一緒に対応する。

教育民生常任委員会

委員長 上代 和美

（議案の審査）

本委員会に付託及び委託された8件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。

（条例等の審査状況）

・雲南市立海潮小学校の移転に伴う関係条例の整備に関する条例について

この条例は、海潮小学校が旧海潮中学校に移転することに伴い関係条例を整備するものです。

問 海潮小学校については改正条例に触れられていないが、教育施設から外していくのか。

答 廃校施設は基本的に旧学校等施設条例に位置付けるが、海潮小学校はかなり古く、今後地域の方と相談し使い方を検討



築55年が経過した海潮小学校

する。現時点では、施設利用は中止し、普通財産化する。
・教育施設等解体撤去事業掛合体育館解体工事請負契約の変更について
この契約変更は、敷地造成に係る盛土工事を追加施工するものです。

問 掛合体育館の建て替えとの関連からの変更なのか。

答 敷地造成で更地にするのは掛合町の中心地としてイベントなどの開催で活性化を図ること。また、駐車場が不足しているので駐車場にして活用したいとの地域からの要望があったからである。体育館候補地は農産加工所と旧水道施設の跡地を考えている。

※掛合体育館建設は検討中であり、建設ありきの資料については配慮されたいとの発言がありました。

(主な予算の審査状況)

・令和7年度雲南市一般会計補正予算(第1号)

①社会福祉施設整備事業1億5,917万円は加茂健康福祉センター「かもてらす」の熱源更新の予算です。

問 事業費はこれで完結か。大きな変更はないか。また、市内事業者で完結できる工事内容なのか。

答 大きな変更の要素はなく、予算額の範囲で行える予定。また、市内事業者で可能かはこれから検討する。

②脱炭素社会構築推進事業2,477万5千円は主に温浴施設等7施設の熱源転換に向けた可能性調査の予算です。

産業建設常任委員会

委員長 安田 栄太

(議案の審査)

本委員会に付託及び委託された5件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。

(条例等の審査状況)

・財産の取得について

除雪トラック1台の購入契約をするものです。

問 納入予定が3月末なので、今年度の除雪作業には使用できない。なぜ3月末納入予定なのか。

答 受注から製作完了までに概ね1年かかる。現在使用している除雪ト

問 転換するエネルギーの内容は。

答 可能性調査なので現状把握と施設ごとにいろんな熱源を比較し、どれが最適かをこれから調査する。



ラックはまだ使用できるので今年度はそれで対応する。

(主な予算の審査状況)

・令和7年度雲南市一般会計補正予算(第1号)

①道の駅さくらの里きすき活性化整備事業1億7,654万円は、道の駅さくらの里きすきの公園、駐車場、産直市場を整備する予算です。

問 今後、予算の追加はあるのか。

答 造成工事で想定より土質が悪いことが直近で

判明した。今後、想定外の事業費が見込まれる。予算内で収めたいので、配置図等の変更も視野に入れ精査した後に検討し報告する。

問 ②団体営農道整備事業3,000万円は、大仁広域農道の崩落した法面を応急復旧工事する予算です。復旧にあたって、国と県と市の役割はどのようになっているのか。

答 この農道は市が管理し対応するものだが、災害復旧にあたるか国に相談したが対象にならなかった。広域農道のため全線の調査を県が行うことになり、調査結果が出た後に対策工事の検討をする。早く応急復旧する必要があるため、市が防護柵を設置して片側交互通行により開放する。

③公園施設整備事業7,800万円は、加茂中央公園野球場のスコアボードの改修工事や大東公園野球場のスコアボードの設計等をする予算です。



大仁農道の災害箇所

問 国民スポーツ大会への対応を踏まえて、どのグレードのものに更新するのか。

答 加茂中央公園野球場は、現状のスコアボードと同等のグレードのものに更新する。大東公園野球場も現状と同等のもので設計する考えである。いずれも解体撤去後、改修工事をする。国スポーツ対

一般質問



6月定例会

質問者の意思を尊重し、本人提出の原稿をほぼそのまま掲載しております。質問項目すべてを載せているものではありません。QRコードからインターネット配信が見られます。

通学路危険箇所の対応は

対応は



佐藤 隆司

問 令和6年度の雲南市通学路交通安全プログラムでの危険箇所の抽出件数は。

答 通学路危険箇所の抽出件数は52件で、対応必要箇所は31件、その他の21件は対応できない状態にあるものがある。

問 対応でない理由は。

答 歩道の設置の場合など用地の取得や道路の規格によって設置が困難であるものや自治会等に検討依頼するものでは、防

犯灯の設置などがある。

問 安全プログラムで防犯灯設置の要望が3年連続出されているが、隣接する自治会間の防犯灯の設置はどう対応すべきか。

答 範囲が広くなる箇所の防犯灯の設置は、自治会に限らず、地域自主組織等も補助対象になる。

問 市長が特に必要と認める場合は、市で防犯灯を設置すべきだ。

答 自治会では防犯目的で自ら負担をされており、均衡も考えながら対応が必要である。照明がない区間は市内多数あり、特別扱いをする理由が仮にあれば対策を考えなければならぬ。

市民に寄添った支援が必要



廣野 祐二

問 地域計画は、農業者に寄添い、農地の集積・集約化を基本とし常に改善し、スピード感をもって推進すべき。

答 今回策定した地域計画は、十分なものではない。今後、将来を見据えた上で、地域に寄添いながら、関係機関と連携し、農地の集積を進め、農地の維持・発展に取り組んでいく。

問 中小零細企業の持続的発展には、適正な価格転嫁、合理化と労働力の確保、円滑な事業承継が必要。

答 適正な価格転嫁は、どんな支援ができるか寄添った対応をする。質上げは、生産性向上、市場拡大等による利益の確保

に対する支援を行う。事業承継は、事業者が未来につなげる意識を持っていただくよう関与し、専門機関につなげていく。

問 人口減少社会において、財政健全化のために、公共施設の再編、行政サービスの棚卸が必要。

答 施設の在り方、行政サービスの棚卸は行っていないかなければならない。今後、徹底した議論を重ねていく。

廃棄物処理施設の整備計画を問う



石原 忍

問 一般廃棄物処理施設の整備計画について、令和5年3月時点で約122億円と試算していたものが、昨年9月の再試算で約180億円まで増額となったとのことだが、

昨年9月時点で基本構想策定時より約60億円増額することが分かっていたにもかかわらず、この間、何の説明もせず、半年以上もたってから再度検討し直すと考えたのは、あまりにも対応が遅過ぎる。また、これだけの大規模プロジェクトであるので、その都度経過説明をするなど、もっと丁寧に進めるべきと考えるが見解を問う。

答 この施設整備費用180億円については、基本構想策定時に想定した122億円を基本に、物価上昇率あるいは他団体での入札実績等を加味して求めた概算の数字である。この事業の財源となる国の交付金を受けるための事前協議手続を進める際に再試算をしたものだが、今後、精査する中で更なる増額の可能性もあり、いたずらにこの時点で議会等へ説明することは控えるという判断をしたところである。

教育施設の
早期の情報公開を



竹部 貴博



問 子育て支援施設及びスポーツ施設の老朽化の現状と、改修・建て替え等に関する今後の見通し、災害等への安全対策と快適な保育・教育環境の整備は。

答 令和3年3月策定の雲南市施設等整備保全計画に基づいて進めている。随時、職員、保護者からの情報を基に優先順位を定める。また、災害対応は、マニュアルに沿うが命を守る行動を最優先に早めの避難をするよう現場と連携をとる。建て替えについては、統廃合や適正利用の観点から今後検討する。スポーツ施設は、掛合体育館は新設、大東体育文化センターは大東公園体育館に集約、

木次体育館は、木次中学校建て替えに併せた整理を進める。情報公開は、施設毎に進捗が異なるが、市長施政方針、各競技団体、改築検討委員会等に併せて行い、また地域の皆様と意見交換しながら対応する。

他 その他、地域経済振興を図る施策の導入について5項目の質問。

災害時の
指定避難所の運営



高橋美佐子



問 指定避難所及び指定緊急避難場所は何箇所あり、概ね収容人員はどの程度か。

答 指定避難所と指定緊急避難場所を兼ねた施設が81カ所、指定緊急避難場所が3施設あり、収容

可能人数は約3万3千人である。

問 災害時にはいろいろな問題があると思われるが、特に女性、子ども、高齢者など、どのような配慮が必要と考えるか。

答 ストレスのかからない避難生活が送れるように、ファミリーテントやパーティション、簡易ベッド、ラップ式トイレなど、備蓄計画に基づく配備を進めている。



災害用ファミリーテント

問 国際化が進む中、多様な言語に対応した避難指示など検討されているか。

答 市が発信する避難情報

報等については、防災無線、音声告知放送、安全安心メール、市ホームページ等による周知を基本としており、外国人でもわかりやすい日本語を使うよう努めている。

人口減少にもつと
危機感を持って



原 良太



問 最重要課題である人口減少問題に対し、本市は人口を増やす政策、人口減少を受入れ本市に残る市民の生活基盤を維持する政策、どちらに重点を置いて取り組むのか。

答 どちらか一方を進めるということではなく、バランスを取りながらその両面にしっかりと対策を講じていくということが将来を見据えた人口減少

対策になると考える。

問 広い本市を今のまま維持することは難しいと考える。本市にコンパクトシティ構想はあるか。

答 立地適正化計画において居住誘導区域を設定して資本の集中を促す。農村RMO（複数の集落機能を補完し合う農村型地域運営組織）により農村の維持も必要。

問 中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払制度等、交付される蓋然性が高い補助金の補完制度として、本市独自の直接融資制度創設の考えは。

答 独自の融資制度創設の考えは現状なく、影響を最小限にとどめるための取組みを行う。具体的な声があがれば検討の余地はあると考える。



子どもの
安全対策は万全か



中林 孝

問 給食に異物が混入する事故が相次いでいる。本市は他市に比べ件数が多く、特に加茂小に集中している。原因と対策は。

答 発生件数の半分について原因が特定できなかった。原因不明の事案に対して衛生・安全管理研修の開催や作業工程の点検を行い記録体制の見直しを進めていく。

問 こども園の施設が壊れたり使えなくなったりしている。対策を伺う。

答 壊れた箇所の修繕は速やかに行った。緊急度、優先度の高いものから対応している。ブランコについては直ちに修繕や新しくする予定はない。

問 このような状況で「子育てするなら雲南市」



修繕が求められる加茂こども園

と胸を張って言えるのか。必要な箇所に十分予算が組まれていないのが根本的な原因ではないか。

答 園児の安全に関わる問題については基本的に対応していると認識している。安全を優先する中で、施設の更新や大規模な修繕は優先順位を考えたうえで対応していく方針だ。今回指摘のあった施設の問題については承知していなかった。

少子化対策と
子育て環境



吾郷 希穂

問 年々利用頻度が高まっている産後ケアは受入れ先が雲南病院と助産院である。利用回数は令和5年度で雲南病院4件、助産院73件。令和6年度は雲南病院2件、助産院が101件。助産院の施設設備の支援の拡充が必要と思うがいかがか。

答 今年度、市として予算組の予定はないが、国の施設改修費支援事業がある。相談があれば必要に応じ対応を考える。

問 産後ケア7回で支援は足りていると思われるか。

答 国の取り組み基準が7回。利用希望は聞いていないため充足していると考えている。

問 少子化対策について、

目前の生活と子育て支援として、おむつを生後1年間無償にしてはどうか。

答 市は現在「うんなんベビー応援事業」としておむつと産前産後訪問サポート1回無料券を配布し、他に育児相談、栄養相談等のサービスや支援も組合せている。今後とも物品支援だけでなく保護者の方のニーズに合った支援を行う。

観光消費額
10年後36.5億円



福間 守

問 観光振興の対策は。

答 観光消費額を高めていくために、滞在時間の延伸、宿泊者数の増加を目指す。テレビ等への露出の機会を増やし、SNSを通じた効果的な情報発信で雲南市の良さ、魅

力を知っていただく、認知度を高めていくことが必要。雲南市観光協会、雲南市商工会と連携して、体験メニューの開発を進めたい。宿泊や体験、点在している観光資源をより効率的に回れるような周遊を意識したツアーの造成と販売を進めたい。

問 4月に観光案内所を新設。観光の成果目標は。

答 観光消費額の拡大に取り込む。第3次総合計画の成果指標として、令和5年度23億7千万円の観光消費額を10年後に36億5千万円と設定。

問 「平和を」の都市宣言から20年。世界平和の実現、核兵器廃絶のために雲南市は何をすべきか。

答 平和を実現するため最も重要なことは、違いを理解し認め合うこと。キャリア教育及び人権学習、平和学習を通じ、お互いを尊重し合う地域づくりを進めていく。

市民の
安心・安全



梶谷 佳平



問 国道54号で松江境から加茂町内に向け、横断歩道が20か所あるが、その内半分が消えているか消えかけている。市民の安心・安全の観点からどう考え対応するのか。

答 横断歩道や信号機等の道路標識の管理や修繕等は島根県公安委員会が実施している。雲南市は毎年、雲南市通学路交通安全プログラムに基づき、通学路の危険箇所抽出調査を行い、横断歩道等の修繕が必要と判断した場合、雲南市通学路安全推進会議より、横断歩道等の改善要望を公安委員会に行っている。道路点検で発見したものや市民からの通報案件も逐次公安委員会に要望を行うこと



消えかかった横断歩道（加茂町柳橋付近）

として
問 昨年の夏は、猛暑で通学時に体調を崩した子どもがいたので急遽バスでの登下校となった。今年度の猛暑対策はどうか。
答 今年度も昨年度同様、児童生徒の安全確保のため、昨年度臨時便で対応した学校は、7月頃から9月中旬までスクールバスの臨時便対応を予定している。

福祉タクシ
利用助成充実を



渡辺 重光



問 在宅で通院が必要な方に支援されている福祉タクシーの年間交付額は、上限3万円となっている。しかし、利用者の中には年間30万円近く費用が掛かり、負担が大きいとの声も聞く。見解は。

答 福祉タクシーの利用助成は、高齢者や身体障がい者の外出を支援するもので、通院目的に限定したものではない。なお、別の制度であるが、高齢者バス・タクシー利用助成との併用も可能であり、これを合わせると、最大で4万8千円の助成が可能である。
問 消防団員の報酬は2年前に見直しがあり、支払いも個人に直接支払われることになったが、部

班の活動費は減少傾向にある。ポンプ管理費、分団運営費などは、20年変わったくないが、増額の考えは。

答 今後、消防団とも意見交換したい。

問 防寒着、長靴等、団員の備品購入に対する支援の充実は。

答 消防団として必要な装備は貸与していると考えているが、他市の状況も調査し検討したい。

学校トイレの
洋式化を早急に



上代 和美



問 令和4年度に小学校66基、中学校33基の洋式暖房洗浄便座への改修が行われたが、未だに洋式化は44%、洋式トイレ全数に占める暖房便座は54%にしかない。

前教育長は一般質問で「今後とも計画的にやっていく」と答弁されたが、どういう計画が立てられているのか。

答 学校施設の整備にあたっては、各学校の施設修繕整備項目を把握し、緊急性を考慮し優先順位を整理した上で取り組むこととしている。トイレの洋式化もその一環として整備を進める。

問 学校現場とよく相談し、改修の考え方として例えば、児童数、低学年からまたは女子トイレかなど優先順位の考え方をしっかり持ち早急に計画を具体化すべきだ。

答 利用頻度や低学年児童が使用するなどの事情を考慮し整備を進めた

問 学校は災害時の避難所にもなる。平時からトイレの洋式暖房便座化を計画的に進めるべきだ。
答 教育委員会として避難所指定を理由とした学校施設整備は行わない。

次期一般廃棄物
処理施設構想



原 祐二

問 前年度までの人件費、委託費等の経費は。

答 総額9,700万円。交付金の利用により、実際の負担は2,800万円。

問 構想策定における①既存施設の活用による規模決定、②民間廃棄物処理業者への業務委託、③PFI・DBO方式の検討内容は。

答 ①既存施設の活用は考えず、新設・集約化を検討した。②処理業者委託の選択肢は、十分な検討はしていない。③建設が決定した後、検討を行う項目（運営項目）とした。

問 最適な仕組みの決定には、何を優先するか。

答 財政負担、安定性、

環境負荷、ごみの減量化など検討し判断する。

問 再検討では、可燃ごみ施設について、2点の可能性を検証すべきだ。①各施設の長寿命化を図り、ごみ量の減少に併せたコンパクト化、②3市町内への民間業者誘致による委託化。最も財政負担を抑えられる方式について、現状での見解は。

答 現時点では、詳細なコスト比較をしていないため判断しかねる。



現在のごみ処理施設

下校時の児童生徒の
安全確保を



中村 辰眞

問 小学校敷地内外で、安全確保の責任の所在は、学校にあるのか保護者にあるのか、見解は。

答 登下校において児童の安全確保の責任は、敷地内は学校、敷地外は保護者にあるが、学校も児童生徒の安全な登下校については保護者と連携し取り組む必要がある。安全な通学路の設定、通学方法の策定、児童生徒への安全指導、この3つは学校が責任を持って行う。

問 下校途中で保護者と児童が出会った時、安全確保ができれば保護者の車に子どもを乗せることは可能。また学校に迎えに行く時間を伝えれば、それが10分〜20分ほど短時間であれば、学校とし

ては待機させることは可能との認識でよい。

問 下校時の暑さ対策としてスクールバスや市民バス利用を検討すべきと思うが見解は。

答 昨年同様に児童生徒の安全を最優先に考えスクールバス対応を計画。また、市民バスとの混乗という形で市民バスとスクールバスの連携を進める。

令和7年度雲南市議会議員人権研修会

教育民生常任委員会副委員長 多賀 法華

令和7年4月11日、雲南市議会議員人権研修会を開催し、18名の議員全員が参加しました。

研修会は、雲南市人権センター啓発指導講師の高木広明さんより「ことばと表現について」と題して講演をいただきました。

人権意識の向上には、継続的な取り組みが必要で、研修に参加する度に新たな気づきがあります。また、自分の中のアンコンシャスバイアス（無意識の思い込み、偏見）をチェックする良い機会になります。

今回は、時代とともに人権意識が向上し、変わっていった言葉や表現について歴史を踏まえて学びました。

言葉にだけ捉われてもいけません、思ってもいないことでのいつの間にか相手に不快な思いをさせてしまうことがあります。改めて、知識は大事であると思いました。

今回学んだことを議会で活かし、今後も人権研修を継続し、学び続けたいと思います。



開かれた市議会を目指し、市民の皆様からの声を直接お聞きする「議会と語ろう会」を市内各地域で開催しています。

今回は、5月8日～5月14日、市内6会場で開催し136名の参加がありました。多数の意見をいただきましたので、その一部を会場別に紹介します。

大東会場

- 消防団員歴20年や25年に対して報奨金を支払う方が消防団の団員確保には良いのではないかと。
- 大東高校に、看護学科を創設するなど根本的に変える必要があるのでは。
- 住宅や宅地の購入の補助を厚くしてほしい。

- 幡屋交流センター整備事業やラメール整備事業の費用などインフラに大きな額をかける必要があるのかを真剣に考えていただきたい。
- 他県からの親子留学を検討してほしい。
- 市内店舗が減り市外で買い物することが多い。市内にある会社に助成をしてほしい。

加茂会場

- 市内道路の壊れた箇所、危ない箇所への対策。

処をしてほしい。

- 公共施設の使用料などの値上げの算定方法については、個別に判断をしていただきたい。
- 学校の統廃合ほか公共施設の見直しは絶対に行わなければならない。
- 子ども医療費助成事業は本当にこれだけの予算が必要なのか。
- ごみ処理場について状況を教えていただきたい。
- 市立病院の病床が減らないよう、国に対して働きかけをお願いしたい。
- 民生委員の問題について執行部や国・県に対して提案していただきたい。

木次会場

- 自主組織の処遇改善をお願いしたい。
- 現在の減債基金や財政調整基金残高で市政運営ができるのか。
- 市内出生数の減少下において、保育所の運営も考えていくべきである。
- 車を諦める人たちへの公共交通を考えていただきたい。
- 山田川改修をお願いしたい。
- 弱者の声も聞いていただきたい。
- 旧市役所の跡地利用は決まっているのか。
- 子どもが外で遊べる場所・住民の憩いの場として、また災害時の避難場所としての公園が必ず必要。

要だ。

- 放課後デイサービス事業は、誰でも簡単に利用することができない。

三万屋会場

- 市民からの意見・要望とその処理状況がすぐに確認できる仕組みが必要。
- 「すぐやる課」を作って欲しい。
- 下の子どもが生まれると、上の子どもはこども園等の利用が制限されるので、利用が制限されないようにできないか。
- 木次線について、継続的に乗車を促すような魅力が必要だ。
- 学校後援会費や消防後援会費は任意であるため、払っている人といない人がいるのは不平等では。また、この会費がないと学校活動や消防活動の継続が難しいのでは。
- 選挙ポスター掲示板の位置がもっといい場所があるのでは。

吉田会場

- 公共施設が無駄な施設になっていないか検討されているかが市民には見えてこない。
- 本市の玄関口、たたら壱番地の重要性は高い。
- 吉田はキャッシュコーナーが少なく、たたら壱番地で対応してほしい。
- 市有林を財源に変えるために

はどうすべきか。

- 市長はお金がないと言っているが、ないならどうしたらよいか一番先に考えるのは職員さんだ。
- 夢ネット料金を市が賄えないのか。
- 吉田で飲食をする施設がたたら壱番地を除きないのは問題である。
- 観光協会に吉田観光マップの作成を依頼したら、できないと言われた。

掛合会場

- 税収増を目指し、固定資産税の税率を現行より0.3%引き上げでは。
- 武道館がトイレも使えず雨漏りもしている。
- 掛合分校は学校の取り組みが評価され入学生徒も増えている。
- 災害や子どもたちのことを考えると体育館が必要である。
- 避難の方法がない。避難先にはベッドもトイレもない。避難後のことも考えていただきたい。
- 掛合町郡自治会にある未利用住宅を整備し集約化をすることが必要では。
- 市を全体として捉えると三万屋のICを中心にきちんと投資をしていけばいい。
- 八重滝の現地視察を行ってほしい。

| 議 | 員 | 発 | 議 |

地方財政の充実・強化を求める 意見書（抄）

政府はこれまで「骨太方針」に基づき、地方一般財源の前年度水準を確保する姿勢を示してきました。しかし、増大する行政需要また不足する人員体制に鑑みれば、今後はより積極的な財源確保が求められます。

このため、令和8年度政府予算また地方財政の検討にあたっては、現行の地方一般財源水準確保より積極的に踏みだし、社会全体として求められている賃上げ基調にも対応する人件費の確保を含めた地方財政を実現するよう、以下の事項を求めます。

1. 増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握するとともに、それを支える人件費を重視しつつ、現行の水準にとどまらない、より積極的な地方財源の確保・充実をはかること。
2. 地方単独事業分も含めた、十分な社会保障経費の拡充をはかること。
3. 地方交付税の法定率を引き上げるなどし、より自律的な地方財政の確立に取り組むこと。また、所得税や消費税などを対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、より抜本的な改善を行うこと。
4. 政府として減税政策を検討する際に、地方財政への影響が想定される場合は、確実にその補填を行うこと。
5. 「地方創生推進費」として確保されている1兆円については、恒久的財源としてより明確に位置付けること。
6. 会計年度任用職員においては、今後も当該職員の処遇改善や雇用確保が求められることから、引き続き、その財政需要を十分に満たすこと。
7. 自治体に対する特別交付税の減額措置について、早期に廃止すること。
8. 自治体業務システムの標準化・共通化にむけては、十分な財政支援を行うこと。
9. 地域の活性化にむけて、地域公共交通に一層の施策充実をはかること。
10. 人口減少に直面する小規模自治体を支援するため、段階補正を拡充するなど、地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化をはかること。
11. 自治体が行う事業において、労務費の適切な価格転嫁が果たされるよう、必要な財政支援を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和7年6月26日

島根県雲南市議会

提出先

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 内閣官房長官 総務大臣 財務大臣

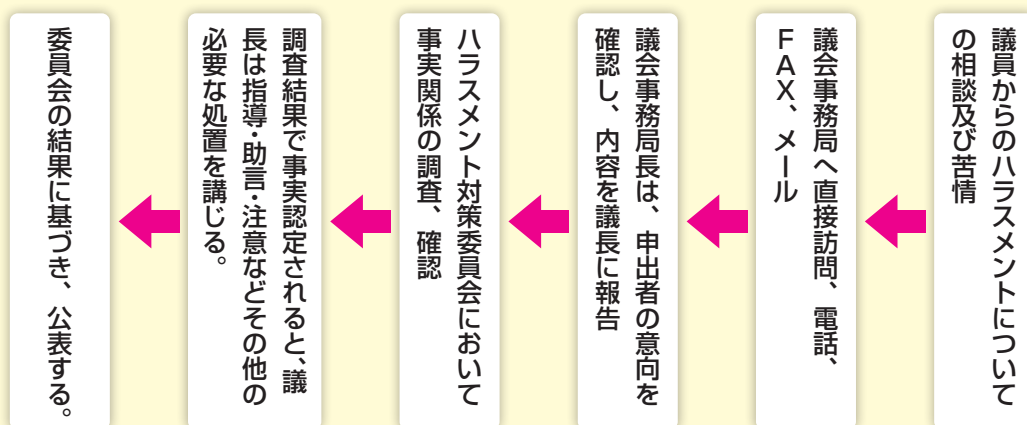
議 員 発 議

雲南市議会ハラスメント根絶条例の制定について

ハラスメントは、基本的人権の侵害及び個人の尊厳を著しく傷つけ、市民福祉や議会活動に支障をきたし、議会の社会的信用及び信頼を失うことにつながります。議員間はもとより、特に市民や雲南市職員等に対するハラスメントは、不当に市民及び職員等の尊厳を傷つけ、人材の喪失、行政の停滞を招くことになり、更には議員への市民の信頼を裏切ることになりかねません。

雲南市議会は、議員及び議会としての役割を発揮するため、互いに人格を尊重し、相互理解を深めることを通じて、ハラスメントの根絶に努め、信頼される議会の実現を目指すことを決意し、この条例を制定するものです。

議員からのハラスメント相談の流れ



請願・陳情の提出について

9月定例会の請願・陳情は9月3日（水）17時までに、議会事務局へ提出してください。

上記の受付期限を過ぎた請願・陳情は、12月定例会での審査となります。

編集後記

令和7年6月議会は、梅雨空の中、行われました。今回は、議員の綱紀粛正を図るため、「雲南市議会ハラスメント根絶条例」も可決しました。田んぼでは、おおむね順調に、田植えが終わり、コウノトリは、今年も8羽のひなが誕生し、巣立ちが始まっています。今年も繰り返されるであろう異常気象、トラップ関税による影響、世界各地で繰り返される紛争と軍事費の膨張の流れがあり、雲南市においては、行財政健全化や人口減少社会への対応等、様々な課題がある中、危機感をもって、立ち向かっていかなければなりません。梅雨の晴れ間を見るとき、将来を憂うだけではなく、市民みんなが、明るく、元気に、そして笑顔で過ごせる「えすこな雲南市」、幸せな雲南を目指していきたいと、改めて思ったところです。

⑧

議会広報広聴特別委員会

委員長	多賀 法華
副委員長	原 良太
委員	吾郷 希穂
	石原 忍
	廣野 祐二
	渡辺 重光
	佐藤 隆司
原 祐二	